

# 西來寺報

二〇一一年

春彼岸号

## 本堂改修および庫裡改築工事について

春まだ浅い時節、皆様ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、先日本堂改修及び庫裡改築工事のお知らせをお送り致しましたのでご存じのことと思いがすが、このたび本堂の改修と庫裡の改築を行うことに相成りました。

お送り致しました、ご案内の手紙では紙面が足りませんので、ここで少し説明を加えさせて頂きま

す。先ず第一に本堂の改修ですが、当本堂は昭和二十七年京都より移築して建立したもので、平成二年に屋根の大改築を致しまして以来二十年、今日に至っております。今回、調べたところ不陸（瓦が平でないこと）が発生、進行しておりませんでした。この度は瓦を全部はがすことなく一部の瓦を一度はがしてその間から部材を屋根裏に入れて強度を増して不陸の進行を防いでいきます。次に耐震補強ですが、

寺院のお堂はもともと地震の時、揺れることよって地震のエネルギーを分散させて地震から逃れる構造になっています。（制震構造と言います）今回の工事ではその力を強め現状のまま震度6クラスまで倒壊することのないよう補強していきます。具体的には、本堂周りの柱の交換、荒壁パネルの取り付け（荒壁パネルとは地震の時壊れることよってエネルギーを吸収する一枚の壁のこと）、仕口ダンパーの設置（ダンパーとは地震の揺れを減衰させるもの）等々があげられています。幸いにも、柱を支える礎石は大きいものが使われ、地盤もよいと診断されましたので施工することよって、今後屋根瓦がダメになる数十年は現状のままが維持出来ます。

次に本堂と庫裡をつなぐ渡り廊下部分は、五十年ほどたつ建物で老朽化のため雨漏りがおこっています。またトイレ等の設備も古く皆様にはご不自由かけておりました。今回はここの部分を新築して

便利にご使用頂けるよう、考えております。具体的にはトイレの増設、特に今回は身障者の方も使って頂けるよう、多目的利用可能なトイレを別途増設致します。また今までなかった階段の横にスロープを設けて、車いすの方も直接本堂、庫裡に入れるようにバリアフリーにも心がけております。また寺務所の新設、庭側には、比較的人数の入れる多目的ホールを備え、法事の待合、会合、食事などが出来るように致します。

さて、次には庫裡の改修工事です。この庫裡は築三〇年たちますので、堅牢な建物ですので、今回は耐震補強の必要は無しと判断し、主に外壁の塗装工事、客殿の壁の塗り替え、周囲雨樋の交換、破損した屋根瓦の交換、妻壁板の交換程度に収まるように考えております。

このたび本堂、渡り廊下、庫裡と三カ所の工事になります。なんと申しましても、お寺の中心の建物は本堂です。このかけがえのない本堂を次世代、次々世代まで伝えていきたいと願っておりますので、今、工事を行なう所存であります。

最後に、過去数回にわたるご門徒の皆様のご懇志によつて、今の西来寺は成り立っています。この度は経済不況の中、ご門徒の皆様のご事情もいろいろおありかと感じられます中、大変恐縮ではありますが、何卒ご理解、ご協力いただきませう、伏してお願ひ申し上げます。

### 雪の日の本堂

文 住職 大塚 充  
合掌



二〇〇九年二月三日 撮影

## 【門徒Q&amp;A】

Q 「門徒もの知らず」ってなに？

どういうこと？

A 以前は、仏教の各宗派でも、一門の徒輩という意味で使われていましたが、近代以降「門徒」と言えば、私たち真宗門徒のことを指すのが一般的になっていきます。その私たちを指して「もの知らず」というのですから、ずいぶんバカにした、失礼な言葉です。

しかし、この言葉には、むしろ私たちが誇りに思うべき、大切な意味が含まれています。

「物忌み(ものいみ)」という言葉があります。

たとえば、日の吉凶―仏滅には結婚式を挙げないとか、友引には葬儀を行わない、三りんぼうには建築にかからない等―と呼ばれるものなどがそれです。

こうした「物忌み」は、自然や災害の前に無力で、世界は神や霊魂といった目に見えない力に支配されていると信じて疑わなかった、いや、信じざるを得なかった古代の人々の感覚に起源があります。

それが、陰陽道(おんみょうどう)という古い中国の一種の占いと―しかも間違った意味で―混ざり合い、何の根拠もないことでありな

がら、いかにももつともらしい形となつて人々の間に広まり、今日でもなお、俗信として残ってしまっているだけのことです。

人々のそうした思いにつけこむ、偽宗教者もいたかも知れません。

もともと仏教にはそのような俗信や迷信は要素としてありません。むしろ、そこからの解脱(げだつ)をを目指すのが仏教本来の姿です。

鎌倉時代に生きられた宗祖親鸞聖人は、こうした俗信や迷信に、人々が振り回されるのを『悲嘆述懐和讃(ひたんじゅつかいわさん)』で悲しまれ、室町時代の蓮如上人は『御文(おふみ)』の中で「物忌みをせず吉良日をえらばず鬼神をまつらず」と明記されています。

その教えに生きる私たち真宗門徒は、人々が「物忌み」や占いなどに縛られ、振り回される中、それらに惑わされることなく、本当に尊いもの(本尊)を中心とする「真宗の生活」を送ってきました。その姿を見て「門徒物忌み知らず」それが転じて「門徒もの知らず」と揶揄(やゆ)した人たちがいたのでしよう。

テレビや新聞にも当たり前のように占いが登場し、様々な俗信・迷信が、もつともらしく大手を振つ

てまかり通る情報過多の現代。私たちはそうした無意味なものに振り回されず、「門徒もの知らず」と呼ばれることに、むしろ誇りを持って生きていきたいものです。

## 春彼岸法要のご案内

三月二十一日(月)

(彼岸中日・春分の日)

午前の部：午前十一時より  
午後の部：午後二時より

・御懇志の受付は、本堂で致します。

・法要ご出席の方は、なるべく過去帳または法名軸をご持参ください。

・ご都合やご事情により、法要に出席できない方には、申し経(過去帳等)をあらかじめ預かりし、法要の際(本尊に奉獻)をお受けしますので、ご希望の方はお申し出ください。

## 【本堂改修・庫裡改築工事】

期間のご案内とお願ひ

先般ご案内の通り、本堂の耐震補強改修および庫裡の改築工事を次の期間(予定)で実施致します。

工事期間中は、ご不便、ご迷惑をお掛けし、申し訳ございません。ご理解、ご協力を賜りますよう、何卒、宜しくお願ひ申し上げます。

◎本堂

平成二十三年四月上旬

～平成二十四年一月末

・工事期間中は、法事・法要等の使用ができなくなりますので、現庫裡に仮本堂を設置し、お勤めを致します。

◎庫裡

平成二十三年三月中旬

～平成二十三年九月末

・三月二十四日より、現トイレが使用できません。仮設トイレのご使用をお願い致します。また、御法事の際のお食事のご希望に添えない場合がございます。

◎駐車場

・三月十四日より工事期間中、境内(本堂前)の駐車はできなくなります。山門下あるいは寺門前の駐車場をご利用ください。

※ご不明の点につきましては、ご遠慮なくお尋ねください。